

2005.6.1 第16号

くにくさだより

編集・発行：安芸区阿戸町418-1 あと会広報事業部
TEL (082) 856-0222
http://www.kunikusa.or.jp/

題字 升味 美佐子様

新年度が始まり、二カ月前あまりが経ち、あやめやあじさいの美しい時季となりました。今春、あと会に14名の新人職員が仲間入りしました。期待と不安が交錯する中、一日でも早く皆様の役に立てるよう、新人研修を受け、各々の担当部署で実践を積み、成長致しました。今年度の新人職員は若さとやる気に溢れ、与えられた業務を確実にこなす堅実な集団です。ご利用者の方からも、職員からも信頼を獲得し、大変頼もしい存在となりました。

昨年度より、医療法人社団あと会、介護老人保健施設ふかわ・くにくさが加わり、一層にぎやかになりました。気持ちも新たに、よりよいサービス提供に努めて参りたいと思います。それでは、新人職員の希望に満ちたフレッシュな声をお届けします。

介護職
三戸 理恵子
ご利用者、諸先輩方から多くのことを学び、ご利用者と関わることの重みと喜びを実感する毎日です。



精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

くにくさ 新人紹介



事務職
山本 遼
四月から事務に就業いたしました。新しい環境の中毎日が新鮮です。頑張つて沢山仕事や知識を身につけ、何でもできる気さくな事務員に成長したいと思っております。よろしくお願い致します。

介護職
中川 篤子
ご利用者の方々の笑顔に支えられ、毎日楽しく働かせて頂いています。知識や技術をしっかりと身につけながら、一日一日を大切に頑張つていきたいと思ひます。



言語聴覚士
千葉 三恵
精一杯努力をし、自分の出来るすべての事をしていきたいです。また、皆様にとって出会えてよかったと思つて頂ける職員でありたいと思ひます。



平成十六年度事業報告

- 職員が目標に向かいロマンを持って働くことができる能力成果主義賃金体制の充実に向け、賃金その他の規定を作成した。
- 経理管理部門の組織強化の為に整備を行ったが、組織強化に至らず、次年度の課題とする。
- 法人の健全運営を目的とした、経費削減を職員に徹底した。部分的にオムツ代、医務費のコストダウンが見られた。
- 防災体制強化の為に第一区町内会自主防災会と災害相互応援協力協定を締結した。
- リスクマネジメントの強化の為各委員会を設置した。
- サービスの向上を目指す、スウェーデンにおけるコンタクトマン制度を各事業所に導入した。
- 広島市介護予防地区活動として「軒はぬき」を実施し、好評だった。
- 広島市筋力向上トレーニングのモデル事業に参画した。情報の共有と対応の迅速化を目的としたコンピュータネットワークを拡充した。
- また、情報管理を徹底した。
- 法人職員の園芸療法士により、法人各事業所に園芸療法を導入した。
- 在宅部門の稼働率アップは、目標が達成できず、次年度の課題とする。
- ホームページに毎日の施設空き状況を入力し、使い易くした。看護師、療法士の学校巡りにて人材確保を行った。

平成十七年度事業計画

- ①あと会法人の能力・成果主義賃金体制の充実
- ②経理管理部門の組織強化
- ③経費削減(コストダウン)による法人の健全運営の強化
- ④リスクマネジメントの強化
- ⑤情報管理システムの構築
- ⑥サービスの質の向上を目指すし、スウェーデンにおけるコンタクトマン制度の充実
- ⑦訪問・通所サービス事業所の介護予防事業への参入
- ⑧各種委員会の設立
- ⑨在宅部門の稼働率アップを目指す
- ⑩小規模多機能を有するサービスの導入

行事予定

七月 七夕会
八月 納涼祭
九月 敬老会 お月見

毎月、ショッピング、コンサート、誕生日会を行っています。

第十二回 納涼祭

17年8月7日(日) 18:00~

暑い夏の到来です。みなさまが待ちにまいった納涼祭が、やって来ました。今年も盛大に開催したいと思ひます。夏野菜が入ったカレーや、焼きそばなど、たくさん的人气メニューをとりそろえてお待ちしております。

ご利用者、ご家族、ボランティアの皆様、是非参加下さい。

介護福祉士合格おめでとう

くにくさ苑

竹本 知代 平野 裕子
西口 明美 近藤 智子
横田 里子

くにくさの家

熊本 恵美子
ダイケア 大久保 貴志
ふかわ・くにくさ 笹田 早苗

新本 純子
米田 幸栄
宮脇 光一
鬼塚 聡
横山 徳浩

ホームページリニューアルしました。

昨年一月よりふかわくにくさ・横山外科のページを新しく開設しました。また三月中旬にはくにくさ苑、リはくにくさの最新空床情報もネットでご覧いただけるようになりました。みなさま是非一度アクセスしてみてください。

編集後記

今年度はじめてのくにくさだよりは梅雨の時期の発行となりました。

梅雨は、中国から「梅雨(ばいう)」として伝わり、江戸時代頃より「つゆ」と呼ばれるようになりました。

日本で梅雨と呼ばれるようになったのは、梅の実が熟し漬れる時期であることに由来されているそうです。

湿気が多い時期ですが、職員一同、明るくさわやかにお届けしたいと思います。